

●用語の解説

―借入―

■市税：市民税、固定資産税、軽自動車税、入湯税など

■繰入金：基金(市の預金)を
取り崩したお金など

■諸収入：貸付金の元利収入
など

■国庫支出金・県支出金：特
定の事務事業のために国
(県)から交付されるお金

■地方交付税：地方公共団体
の財源調整を目的として
国から交付されるお金

■市債：市の事業や国の施策
により発行した借入金

―借出―

■総務費：自治振興、庁舎等
の管理、選挙などの経費

■民生費：福祉、生活保護、
子育て支援などの経費

■衛生費：放射能除染、各種
検診、予防接種、ゴミ処
理などの経費

■教育費：学校教育や社会教
育などの経費

■公債費：市債(市の借入金)
の返済などの経費

■土木費：道路や河川等の整
備、市営住宅管理などの
経費

■災害復旧費：豪雨災害など
の復旧経費

※歳出総額には除染関連支出
約31億円が含まれています。

03 財政健全化判断比率

財政健全化法の規定に基づき、健全化判断比率等をお知らせします

●実質公債費比率

実質的な借入金の返済額が、標準的な収入に対してどのくらいになるのかを示す指標です。25%を超えると一部の市債発行が制限されます。

●将来負担比率

実質的な負債の残高が、標準的な収入に対してどのくらいの割合になるのかを示す指標です。350%を超えると、国や県が財政運営に関与することとなる早期健全化団体となります。

●実質赤字比率、連結実質赤字比率

赤字だった場合の標準財政規模に占める赤字の割合です。令和2年度は黒字なので、赤字比率は生じません。

健全化判断比率における各比率(直近3カ年)

	R02	R01	H30
実質公債費比率	9.3%	9.9%	10.2%
将来負担比率	57.2%	53.2%	51.6%
実質赤字比率	—	—	—
連結実質赤字比率	—	—	—

※上表の比率は、数値が低いほど財政が健全であることを意味します。

04 令和2年度 主な施策の決算概要

新二本松市総合計画を軸に、さまざまな事業を実施しました

□ 人口減少対策

妊婦健康診査事業	3,456万円
出産祝金支給事業	1,173万円
定住促進住宅取得支援事業	684万円
二本松駅南住宅団地造成事業	5,603万円

□ 健康寿命の延伸

予防接種事業	1億6,859万円
生活習慣病予防事業	8,469万円
高齢者公共交通運賃無料化事業	930万円



- ① 利用しやすい整備された杉田駅前広場
- ② 各所に設置されたサーマルAIカメラ

□ 地域の発展

温泉地観光施設整備事業	6,726万円
市民との協働による地域づくり推進事業	3,399万円
地域担い手育成総合支援事業	1,551万円
杉田駅周辺整備事業	1億4,333万円
G I G Aスクール整備事業	5億4,049万円
外国語活動講師派遣事業	787万円

□ 復旧・復興事業

放射能除染事業	24億3,884万円
防災重点ため池整備事業	394万円
移動系防災行政無線のデジタル化整備事業	4,505万円

□ 新型コロナウイルス感染症対策

子育て世帯臨時特別給付金給付事業	6,199万円
特別定額給付金給付事業	54億 804万円
二本松市赤ちゃん特別給付金給付事業	2,377万円
新型コロナウイルス感染症対策経営持続化支援金	2億 899万円
にほんまつ市民生活応援券発行事業	2億6,173万円
※その他、新型コロナウイルス感染症対策として、	8億545万円を支出しました。

決算報告

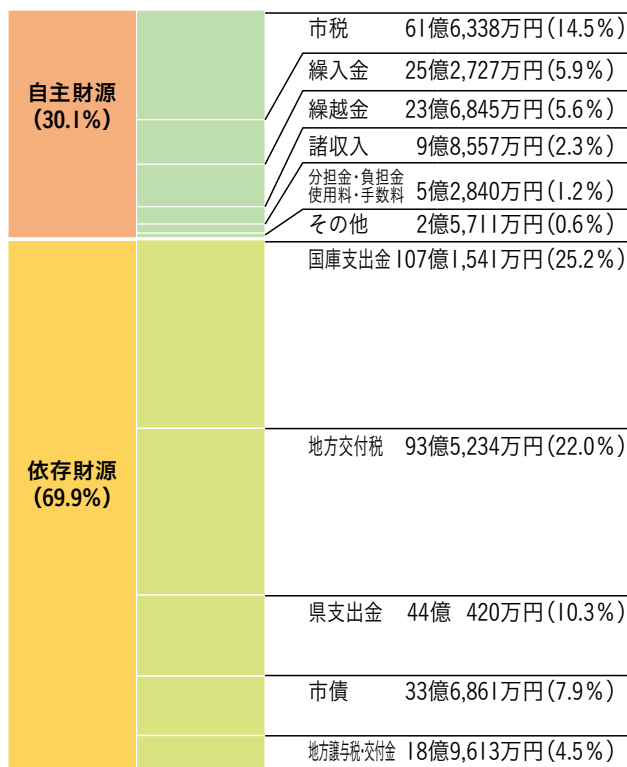
皆さんが納めた「税金」をはじめとして、「市の財産」「市の借金」「国・県からの補助金」などのお金がどのように使われているかを知っていただくため、定期的に財政状況を公表しています。令和2年度決算の詳細については、決算書および関連資料を財政課(市役所4階)のほか、各支所、住民センター、公民館、図書館に備え付けていますのでご覧ください。

01 一般会計 歳入

前年度に比べて91億810万円の増額

新型コロナウイルス感染症の影響により市税が減少したほか、特別交付税が減少しました。一方で特別定額給付金給付事業費補助金や災害復旧事業費支出金により国庫支出金は大きく増加しました。

歳入合計 **425億6,687万円** (前年比27.2%増)

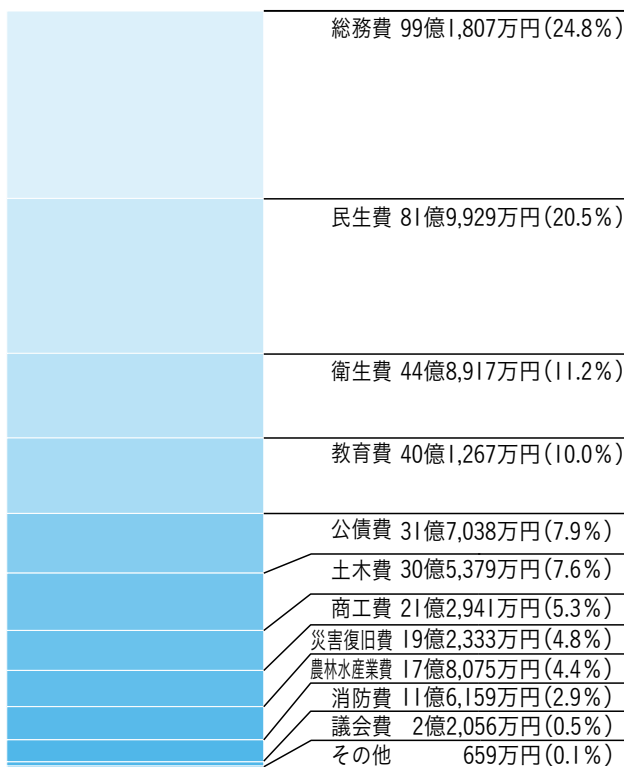


02 一般会計 歳出

前年度に比べて89億7,529万円の増額

新二本松市総合計画がより効果的に展開されるよう、主要施策を選定し実施しました。また、原子力災害に係る放射能除染や健康管理対策も、引き続き実施しました。

歳出合計 **400億6,561万円** (前年比28.9%増)



市民1人当たり市税負担額 11万4,873円
 市民1人当たりに使われたお金 74万6,740円
 市民1人当たりの借金 84万3,285円
 (別表)市債の残高詳細

会計	R02年度末 残高合計	市民1人当たり残高	
		R02年度末	対前年度
一般会計	329億4,314万円	61万3,992円	+1万2,408円
企業会計	123億 251万円	22万9,293円	▲3万1,947円
合計	452億4,565万円	84万3,285円	▲1万9,539円

※令和2年度から市債のあった特別会計が企業会計へと移行したため、企業会計の対前年度は、令和元年度末の特別・企業会計の合計と比較しています。

一般会計決算額

歳入総額	425億6,687万円
歳出総額	400億6,561万円
差引	25億 126万円
令和3年度へ繰り越すべき財源	8億4,150万円
実質収支額	16億5,976万円

